

「湧き水の会」の特色

高橋 勝緒

やっぱり色々なことをやっているね。狭い和光市の身近な自然とのお付き合い。でも、調査をしたり、手入れをしたり、子供たちの観察会に役立てたり、そして会員がそこに集まっておしゃべりや作業をする。

主なフィールドが3か所。白子地区は豊富な湧き水と斜面林。新倉ふれあいの森は珍しい植物の宝庫と竹やぶ。樹林公園では立派な公園の一角に多様な生物が育つ森づくり。それぞれ我々の手に負える広さなのがいい。そして3か所が対照的な特徴を持つ。だから、小さな自然環境のコントラストが楽しめる。好みによって参加の仕方も選択できる。

フィールドを持ち、調査、保全、活用を連携させることができる。一切植物や昆虫を採集しない観察会ではなく、採集してもそれを補えるような保全ができる。子供たちが昆虫を採って大喜びする。昆虫には迷惑であろうが、観察後逃がしてあげたり、昆虫の棲家になるように植物の手入れをする。そしてどんな関わり方が、「自然」を保つ保全なのだろうかと考える。「里山的な保全」、「生物多様性を維持する保全」、「持続可能な生態系の維持」、言葉と実行の結び付きが試されている。



調査



保全



活用

湧き水の会に入会して

奥田 友美

私が和光市に越してきたのは三年ほど前です。市内を散策したりしてますがまだまだ気づかない素敵どころが、色々あるようです。

湧き水もその一つ。湧き水の会に入ったおかげでその存在を知りました。

こんな都会の町で湧き水が見られるとおもいませんでした。「こんなところにあるなんて」と、とてもうれしかったです。

同時に、昔の和光市が見たかったな、と惜しいような寂しいような気持ちにもなりました。「トトロ」に出てくる世界のように自然豊かな景色が広がっていたのだろうか・・・

湧き水の会で自然に気づく機会が増えたことがうれしいです。子どもたちにも伝えたい。緑の保全活動のお手伝いがんばります。

トトロの森へ

皆揃ってバスハイク

